

stylish thinning wood wall

特許出願中

スタイリッシュ間伐材用コンクリート塀

S T WALL
ウォール



無機質なコンクリート塀から柔かな木のぬくもりへ...

環境に優しいスタイリッシュな塀が新登場!!



- 間伐材の有効利用は山林を守るだけでなく、様々な環境効果があります
- 曲がりやすいフェンスや木柵からコンクリート強度による安定感へ...
- 超軽量化により日曜大工（DIY）や人力施工を実現！
- 豊富なバリエーションにより自分好みの個性を演出しよう！



小山工業 株式会社

間伐材問題とST-WALLの特長

間伐材問題

①間伐とは？

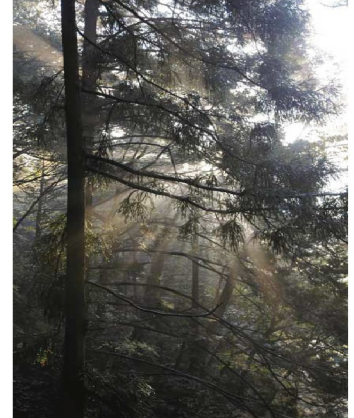
植林して年月が経過すると樹木が成長して混み合い、そのままにしておくとも細く弱い木になり、風雨や雪で折れやすくなるので適当に間引きして健康な森に育てるための作業です。

②間伐不足や放置が引き起こす問題

近年、ニュース等でよく目にしますが、手入れのしていない荒れた森林は根がはらず、降雨量が多いと崖崩れや土石流を引き起こし、山沿いに隣接する住宅地を飲み込む危険があります。また、放置された間伐材はそれ自体が流木となったり、健康な樹木を倒したりします。

③間伐しない森林や間伐材が放置される理由とは？

日本の山林は、戦後の住宅需要のために植林したものの、コストの優先から、輸入材を使用するようになりました。間伐材は間引きをした木なので、曲がりやねじれ等、住宅用建築資材には不向きです。例えば、日本で使用される割り箸の90%近くは低価格の中国から輸入しており、実は間伐材はほとんど利用されていません。日本は森林資源が豊かなのに、森林面積が国土のたった10%程度しかない中国から割り箸を輸入しています。中国では殆どの場合、天然の森林を伐採していて、どんどん森林面積を減少（砂漠化）させています。また、日本では紙・建築材料等殆どが外材です。材木の価格が安すぎて間伐・運搬・二次加工にまわせる費用の余裕はなく、森は放置され、荒れていくばかりです。最近では、間伐材利用の机やベンチ、ガードレールなども作られるようになってはきていますが、間伐材の利用率はまだごく僅かです。プラスチックや鉄のリサイクルも大切ですが、自然に成長してくれる恵みの木こそ無駄にせず有効に活用しなければと考えます。



ST-WALLの特長

- ①間伐材を利用することを主としていて環境に優しい
- ②従来の塀に比べ開口を大きく取ることによってベースを短くでき、塀が安定し易い
- ③コンクリートの強固さと木の柔かなぬもりとのコラボレーション
- ④縦と横に間伐材用の溝を形成することで好みにより付け替えできる
- ⑤軽量化により人力施工でき、狭い隣地との境（重機不可）でも容易に施工できる
- ⑥間伐材は日曜大工（DIY）感覚で好みの色や組み換えを楽しめる
- ⑦釘等を使用しないので女性でも木材を楽々外して風通しをよくしたりできる
- ⑧万年塀やブロック塀と比較して表面が平坦でないので落書きされにくい
- ⑨フェンスや木柵の支柱が曲がっているのを見かけるが、コンクリートなので安心
- ⑩一枚板なので施工が簡単で早い（積みブロックは鉄筋や大量のモルタルを使用、工期がかかる）
- ⑪縦使用の場合、走行中車両の視認を遮断するように左車線から見えない角度を採用
- ⑫横使用の場合、雨の敷地内流入が無いように外向きに下がる傾斜を採用
- ⑬横使用の場合、不審者の足元が見えるように外向きに下がる傾斜を採用
- ⑭小型塀はベース付で大型塀はベース部組立式を採用（人力可能重量にこだわりました）
- ⑮大型塀は塀同士の横連結に特殊な隠し連結方法を採用、簡単に綺麗に仕上がる

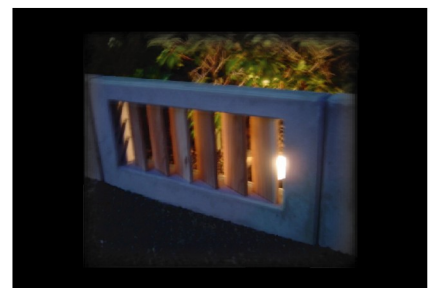


縦仕様 (ST-300T)



横仕様 (ST-300Y)

※コンクリート製品は縦横とも同一で、木材（間伐材）の組み替えのみで利用できます。尚、間伐材依頼時には縦(Ⅱ)か横(Ⅰ)を指定して下さい。

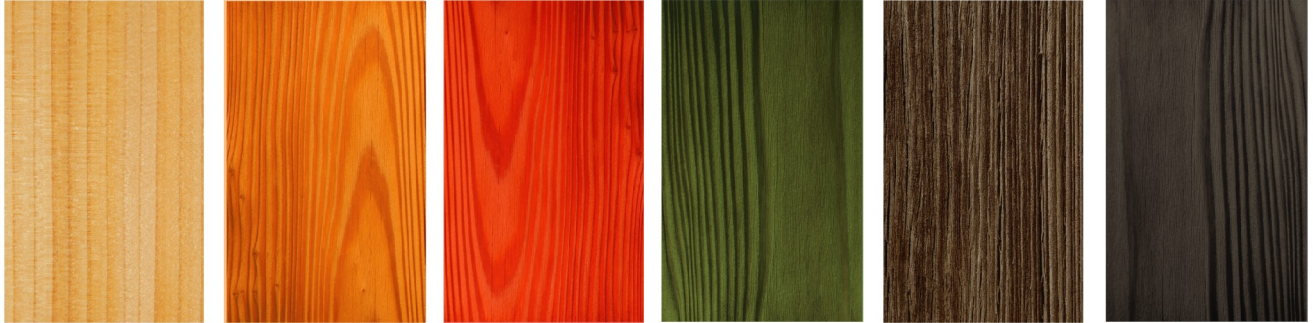


バリエーション&アレンジ

着色イメージ及び組立バリエーション

間伐材の着色は弊社では行っておりませんので別途、お好みの色に着色してご利用下さい。
また、下記着色表示及び製品使用材はイメージですので、塗料メーカーにより色合いや呼び名が違います。

カラーイメージ



イエロー調

オレンジ調

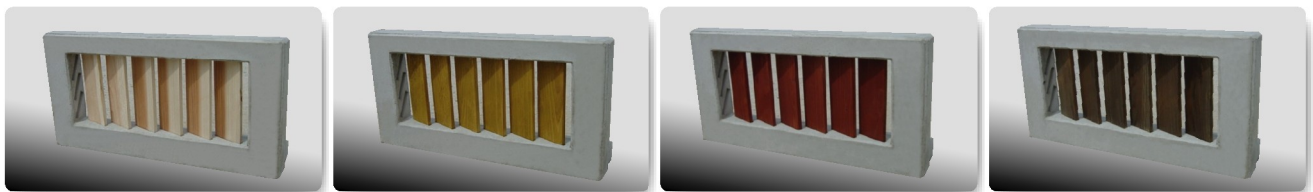
レッド調

グリーン調

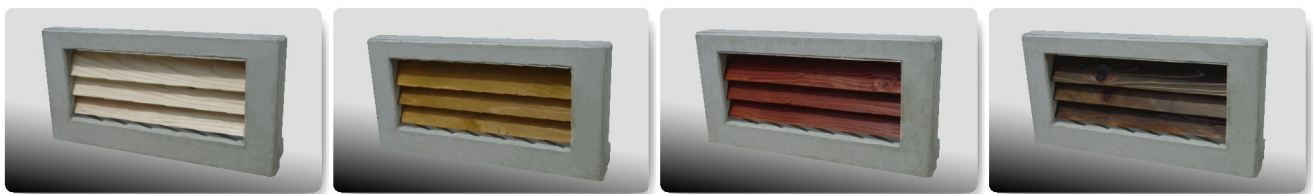
ダークブラウン調

ブラック調

縦組立てイメージ



横組立てイメージ

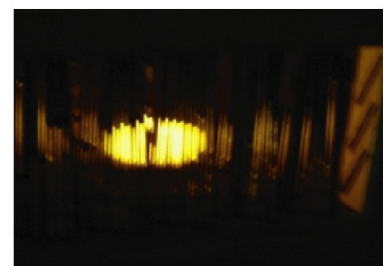


アレンジで楽しもう！

ST-WALLコンクリート製品の枠内には、ちょっとした工夫でアレンジができます。右の写真のように竹をはめ込んだり、丸太や角材等のはめ込み端部を加工することで更にいろいろなバリエーションが楽しめます。ブロック塀やL型擁壁では一度設置すると、色の塗り替え程度しかできませんが、ST-WALLは飽きのこないアイデア次第の楽しみ方ができます。



竹仕様 (ライトアップ正面)



竹仕様 (ライトアップ背面)

※ロッドにより特注や加工対応できる場合がありますので、気軽にお問合せ下さい。



小山工業 株式会社

〒381-2403 長野県長野市信州新町水内3440-2

TEL 026-262-3330

FAX 026-262-3540